

## MV-22 オスプレイの配備及び 飛行訓練に関する緊急要請

去る7月23日、米海兵隊のMV-22 オスプレイが岩国飛行場に揚陸された。

MV-22 オスプレイの配備・飛行訓練については、日米による安全確認の後、岩国飛行場周辺での試験飛行を経て、普天間飛行場に配備され、10月から本格運用が開始される予定であり、米軍より、日本本土上空に低空飛行訓練を実施する複数のルートを設定した旨が示されている。

しかしながら、オスプレイについては、本年4月にモロッコで、また6月には空軍仕様のCV-22が米国フロリダ州で、相次いで墜落事故を起こしている。

我々基地関係市町村議会は、我が国の安全保障という国家的要請に基づき、基地の安定使用について日頃から周辺住民に理解と協力を求めてきているが、オスプレイの安全性について、関係基地周辺及び飛行訓練ルート下の自治体及び住民が大きな不安を抱く中、関係自治体の意向を尊重することなくオスプレイが岩国飛行場へ揚陸されたことは、住民との信頼関係を損ねるものであり、誠に遺憾である。

よって国は、オスプレイの安全性や事故原因、飛行訓練による影響等について、責任を持って関係自治体に詳細に説明するとともに、試験飛行、沖縄県への配備、及び全国各地で行われる飛行訓練等については、関係自治体の意向を十分尊重するよう強く要請する。

平成24年8月

全国市議会議長会基地協議会  
会 長 神 田 隆 彦  
(呉市議会議長)